

統一患水俣病

今後の焦点を聞く

語る人

上天草南摩調

査医師団代表

江頭洋祐医師

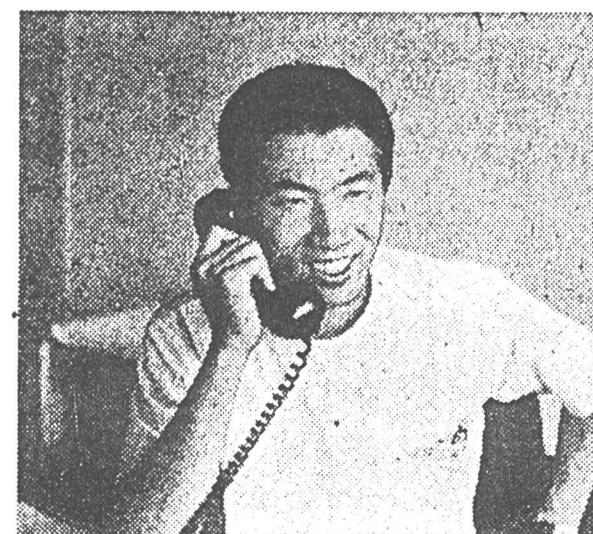
(上天草病院内科)

微量長期摄取型

水俣病の疑いのある人

が、二人あるということだが。

江頭 御所浦町牧島の六十七歳の方と、竜ヶ岳町の五十一歳



嵐口診療所の井上医師と打ち合わせる江頭医師

すか。とにかく、まだ検査の段

階なんですよ。

容疑者、50人位か

—カルテ調査はどのくらい

江頭 新聞社からちょっとよ

而もあるし。

—二人の場合は、四十五年

に発病したということだが。

江頭 疾性化したのが四十五年というところだと思います。徳原先生の「水俣病の疫学」では、水俣病は四十年に終了したことになります。

江頭 それとは矛盾するんですが、ネズミの実験でも採取量を少くすると、疾病がおそくなることがわかつてますし、天草では有機水銀の汚染があったとしても、水俣と違つて、微量ずつ長期にわたって採取されたというふうに考えれば、遅発型もありうるんじゃないかと思うんです。

—遅発型としても、四十五年というのはかなりおじい感じだが。

江頭 これは推論ですが、年をとつてかかる病気を発病したりして、からだが弱つてきて症状が出るというふうに考

えてみても、もしかしたら、不全型ではないかとい

うものが固まつてない現状で

がなく、不全形ではないかとい

うことなんですが、不全型とい

うものが固まつてない現状で

は、何とも言えないわけです。

多発性神経炎では考えられない

えることもできるんじゃないで

以降の入院・外来の全部のカルテの中から事務職員に神経症状のあるケースをまず選んでもらつたんです。三百枚ぐらいある

ことであつて、結局うちと嵐口診療所(御所浦町)が主でしょ

う(インタビューの途中で、井上先生ところは、一応おやりになつたけど、該当者はないというこ

とです。典型例を二応見られた

ことがあつて、結局うちと嵐口診療所(御所浦町)が主でしょ

う(インタビューの途中で、井上先

生ところは、一応おやりになつ

たけど、該当者はないとい

うことです。典型的例を二応見られた

とです。典型的例を二応見られた

らしいけど……そこはもしか

らうからねえ。

—カルテのリストアップ後

はどうするか。

江頭 玉髪水銀量調査の個人

カードと対象して、水銀量の多

い人、まあ三〇PPM以上でし

うけれど、そういう人は各地区

の医師に手別訪問してもらつ

て、現在の症状を調べます。こ

の夏浦大神経科の医局から別の

調査で天草へくることになつて

るので、手伝つてもらうつもり

がある以上、診断をやめるべき

だと思つんです。(診察室の窓で

いらっしゃるんですが、可能性

がある以上、診断をやめるべき

だと思つんです。(診察室の窓で

もよいと思つてます。

—医師は十人ということ

だが、他の医師は…。

江頭 いま天草は患者があつてます。

江頭 たゞ用業医の先生たち

はカルテは治療が主で、詳しく述べます。

江頭 は力は治療が主で、詳しく述べます。

江頭 は力は治療が主で、詳しく述べます。